



平成 15 年 2 月 14 日

各 位

東 新 住 建 株 式 会 社
代表取締役社長 深 川 堅 治
(登 録 銘 柄 ・ コ ー ド : 1 7 5 4)
問 い 合 わ せ 先
取 締 役 管 理 本 部 長 飯 野 磨
電 話 (0 5 8 7) 2 3 - 0 0 1 1

平成 15 年 6 月 期 中 間 期 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

平成 15 年 6 月 期 (平成 14 年 7 月 1 日 ~平成 15 年 6 月 30 日) 中 間 期 の 業 績 予 想 に つ き ま し て、平成 14 年 8 月 22 日 付 当 社 「平成 14 年 6 月 期 決 算 短 信 (連 結)」お よ び 「平成 14 年 6 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要」に て 発 表 し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す の で、お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 15 年 6 月 期 中 間 期 決 算 数 値 の 修 正 (平成 14 年 7 月 1 日 ~平成 14 年 12 月 31 日)

(1) 連結決算業績予想

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	15,852	△590	△691
今 回 修 正 (B)	17,021	155	45
増 減 額 (B - A)	1,169	745	736
増 減 率	7.4%	黒 字 化	黒 字 化
前 中 間 期 (平成 14 年 6 月 期) 実 績	14,397	△41	△181

(2) 個別決算業績予想

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	15,500	△583	△683
今 回 修 正 (B)	16,549	147	43
増 減 額 (B - A)	1,049	730	726
増 減 率	6.8%	黒 字 化	黒 字 化
前 中 間 期 (平成 14 年 6 月 期) 実 績	14,042	△13	△217

2. 修正理由

(1) 個別決算

中間期におきましては、売上高 155 億円、経常損失 5 億 83 百万円、中間純損失 6 億 83 百万円を計画しておりましたが、以下の理由により、売上高 165 億 49 百万円、経常利益 1 億 47 百万円、中間純利益 43 百万円となる見込みであります。

①売上高につきましては、当上半期におきまして、中部圏・首都圏ともに販売エリアの拡大に努めました。とりわけ、中部圏の分譲戸建が好調に推移した結果、前回予想を 10 億 49 百万円上回る、165 億 49 百万円となる見込みであります。

②経常利益につきましては、売上高の増加によるもののほか、主な要因は次のとおりであります。

- ・商品の規格化の推進による工期短縮および購買価格の見直し等による売上総利益率の改善。
- ・経費の効率的な使用管理による販売費及び一般管理費の削減。

③中間純利益につきましては、当初予想しておりました投資有価証券評価損、ゴルフ会員権評価損等の特別損失の発生が軽微であったことによります。

なお、下半期につきましては、住宅・不動産に関する税制改正などの需要促進要因はありますが、引き続き低迷する景気の影響を強く受け、住宅市場の規模は縮小傾向となることが予想され予断を許さない状況が続くものと思われま。

通期業績予想といたしましては、平成 14 年 10 月 8 日付「会社分割による首都圏ザ・借家事業部門の分社化ならびに平成 15 年 6 月期通期業績予想(個別)の修正に関するお知らせ」で発表いたしました、売上高 422 億 45 百万円、経常利益 11 億 97 百万円、当期純利益 4 億 47 百万円を計画しております。

(2) 連結決算

平成 15 年 6 月期中間期につきましては、主として個別の業績予想の修正により業績修正を行うものであります。

通期業績予想といたしましては、当初予定の売上高 438 億 77 百万円、経常利益 14 億 20 百万円、当期純利益 5 億 60 百万円を計画しております。

以 上